



GRECO GUITAR / BASS STYLES

LGB-700, 90 / GVB-90 / JGB-600 / PXB-L400, M400, L480L, L530FL, 800, 1250, 1600

GPB 650, 800 / TV 600 / MSB 1000, MB 90, 100 / VB 80 / VBS 1200 / STEALTH Jr.

JGB
BASS STYLE P23

GVB
BASS STYLE P16

LGB
BASS STYLE P14

PXB
BASS STYLE P18

GPB
BASS STYLE P21

TVB
BASS STYLE P22

MB
BASS STYLE P17

VB
BASS STYLE P24

WOOD MATERIALS

[サウンド・キャラクターを決定する、グレコ・ギター/ベースの重要なファクターです。]



スプルース
軽やかで優れた音域特性をもった材である。その性質からアコースティック楽器のトップ材として使用されることが多い。



ローズウッド
保水性が高く、重く強度のある木材で、指板に使用される。また、アコースティックギターのカットバック材にも用いられる。



エボニー
重くことで光沢が生まれ、指板材として多く使用される。非常に堅く強度があり重い材である。

ギター/ベースの多くの部分は、天然木材によって構成されています。一般的に木材による音色の違いは明らかですが、それ以前にその楽器の構造やパーツ、塗装方法、ピックアップ、使用年月が大きく関わり、そのギターとのコンディションによっても異なってくるものです。また、木材に対する音色の表現は千差万別であり、個人の好みに依るところが大いともいえますので、この木材の特徴はひとつの目安としてとらえ、実際に音を聞いてご自身で判断することも提案します。

●本カタログに記載されているマークは以下のことを表しています。

NECK JOINT



グレコ独自のセット・ネック・ジョイントのモデルを採用したモデル

ボルト・オン・ネック・ジョイントのモデル

セット・ネック・ジョイントのモデル

スルー・ネック・ジョイントのモデル

CIRCUIT



アクティブ・サーキットを搭載したモデル

● L.A.C.ジョイント

[Large Area Contact Joint]

1980年代初頭より採用された「L.A.C.ジョイント」とはグレコ独自のセット・ネック・ジョイントシステムです。従来のセット・ネック・ジョイントよりも、ボディとネックを接着させる面積を大きく取ることで、接着強度が高くなっています。そのため、音の伝達性に優れ、豊かな音質とレスポンスを誇り、年々好評が広がっています。また、年々グレコ製品に導入しつづけている「L.A.C.ジョイント」は現在も高い評価を受けています。現在のラインナップでは以下の機種にこの「L.A.C.ジョイント」を採用しています。

MR-1800 / LG-70 / GV-70 / AG-1000



<ボディとの接着面(ネック裏側)>